

全国大会・中部大会・東海大会等選手選考基準

全国大会、中部大会、東海大会等への代表選手選考は次のとおりとする。

- ・ 東海総合選手権大会
[一般]
県選手権大会1部(単・複・混合複)ベスト4を軸にその他の大会の結果を参考に選考する。
次の大会を代表選考の参考とする。
 - ・ 県総合選手権大会
 - ・ 県学生選手権大会
 - ・ 国体県選手選考会
 - ・ 第1種大会[(公財)日本バドミントン協会が主催又は主管する大会]及びこれに準ずる大会
 - ・ その他国際大会[ジュニア]
国民体育大会岐阜県選手選考会(少年単・複)の成績上位の者から選考する。
上記の次に、全国高校総体県予選会の成績を参考に選考する。
- ・ 全日本社会人選手権大会(要審判資格) ※
県選手権大会の成績上位の者から選考する。
上記の次に、今年度及び前年度の県協会主催大会、県協会加盟連盟主催大会参加者から選考する。
ただし、参加希望者が本県参加割当数を上回る場合は抽選とする場合もある。
- ・ 日本スポーツマスターズ
県選手権大会の50歳以上複及び60歳以上複の成績上位の者から各カテゴリーの選手を選考する。
上記の次に、県主催大会の成績上位の者から選考する。
- ・ 全日本シニア選手権大会(要審判資格) ※
県選手権大会、県レディース春季大会及び前年度県社会人選手権大会の成績上位の者から選考する。
選考順位として県選手権大会上位者から選考する。
ただし、参加希望者が本県参加割当数を上回る場合は抽選とする場合もある。
- ・ 全日本総合選手権大会
(公財)日本バドミントン協会参加資格による。
- ・ 中部日本選手権大会
一般の部は、県協会主催大会参加者から本県参加割当数を考慮して大会上位の者から選考する。
少年の部は、本県参加割当数を考慮して高体連専門部の基準により選考する。
- ・ 全日本ジュニア選手権大会 ※
全日本ジュニア選手権大会県選手選考会の結果により選考する。
 - *ジュニアの部
全日本ジュニア選手権大会県選手選考会の成績上位1名・1組の者
 - *ジュニア新人の部
全日本ジュニア選手権大会県選手選考会の成績上位2名の者
- ・ 全日本中学生選手権大会
 - ①候補選手による岐阜県選抜選考会を行い、8～10名の岐阜県選抜選手を選考する
 - ②岐阜県選抜選手から3～5名の全日本中学生バドミントン選手権大会の選手を選考する。※岐阜県選抜候補選手の基準は、大会の実施の有無によって変動する。
- ・ 若葉カップ全国小学生バドミントン大会
若葉カップ岐阜県予選会の成績1位の団体。
- ・ 全国小学生ABCバドミントン大会 ※
全国小学生ABC大会岐阜県予選会の男女各クラスの成績1位の選手。
- ・ 東海小学生バドミントン選手権(個人:単・複) ※
東海小学生バドミントン大会予選会の単・複・男女各クラス成績1位～4位選手。
- ・ 東海小学生バドミントン大会(団体戦)
岐阜県ジュニアバドミントン大会(団体戦)出場団体のうち成績上位の団体。
- ・ 全国小学生バドミントン選手権大会 ※
 - 個人戦 東海小学生バドミントン大会の男女各クラスの1位～3位選手
 - 団体戦 日本小学生バドミントン連盟大会推薦選手並びに東海小学生バドミントン大会、東海小学生バドミントン大会県予選会、全国小学生大会団体戦選考会の結果を基に男女6名程度を選考。
- ・ 日・泰(タイ)ジュニア交歓大会
全日本ジュニア選手権大会県選手選考会の成績上位の高校生から選考する。

※ 大会名に※印があるものは、主催者において推薦枠あり。

※ 選考大会が開催できないほか特別な事情がある場合は、理事長が選手を選考することがある。

※ 大会参加者を県協会HPで募集することがある。